

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	かえで荘
(ユニット名)	1号館
所在地 (県・市町村名)	長崎県佐世保市針尾東町977-5
記入者名 (管理者)	井手 明美
記入日	平成 19 年 8 月 23 日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念にそって活動して啓発、広報に取り組んでいる。	○	大きな行事の際は隣近所の声かけし一緒に楽しんでいる
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝の朝礼で復唱している。		
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	家族会、運営推進会議の中で説明行事参加を呼びかけている。	○	地域の方との密着なしではムリ
2. 地域との支えあい				
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	入居者方と散歩の時近所の方々との接触を図り、挨拶に努めている。		
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域性もあり活動参加は思うように運ばないことが多い	○	地域の小学生との交流会を企画したい。参加できたらいい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議の中で役たつ事の話合いをもっているが、まだ実践に至らない。</p>		<p>取り組んでいきたい</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>評価後改善すべき点を検討し実践している。自己評価することで意義を理解したと思う。</p>		
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>地域住民の方々、他の意見等を聞きいれ繁栄されているがどのような内容で行われているか不明の人もありサービス向上には至らず。</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>相談に出かけて情報を得ている。</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>制度について学んでいるが活用、支援までは行かない。</p>	○	<p>取り組んでいきたい</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>自主的に学ぶ機会を持ち十分注意を払い防止に努めている。</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>CM, 管理者が十分な説明を行っている。解約に関しても家族に理解してもらいよい方向で納得をしている。</p>	<p>○</p> <p>細かいところまで説明が出来るようになると不在時に対応が出来る。</p>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>不満、苦情で分かりかねる事は管理者への相談を進め解決している。</p>	<p>○</p> <p>管理者から報告しじを受けている。</p>
14	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>毎月近況報告をしたいる。又来設時に報告している。金銭管理は帳簿をつけ面会時にサインをやら伝えている。</p>	<p>○</p> <p>担当職員の移動の際はその都度利用者の前で説明をしている。</p>
15	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>ホーム玄関等にご意見箱を設けている。家族の相談も面会時にされている。</p>	<p>○</p> <p>目立つところに設置する。苦情受付を張り紙に知る。</p>
16	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>月一回のミーティングを行い臨時に行う場合もある。</p>	<p>○</p> <p>ミーティングにいえる意見を持つて参加する。</p>
17	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>行事等で柔軟な対応が出来るようにしている。</p>	<p>○</p> <p>全員の利用者を理解するためにも必要</p>
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者を第一にかんがえ配慮している。移動は6ヶ月～1年に1回交代している。移動で影響が出ないように情報の共有しあっている</p>	<p>○</p> <p>全員の利用者を理解するためにも必要</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	段階に応じて研修を受け声かけや本人の希望によりうけさせてもらっている	○ 積極的に参加したい
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	GH協議会があり相互訪問への活動をしている。	
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	気軽に話しかけが行われ人間関係において働きやすくするため面接や食事会がある。	○ 職員同士のあいさつやマナーなど気持ち良く仕事をしたい。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	把握はされている。向上心を持ち働けるようにされている。	○ 職員は誰のために働くのか、利用者の事を見ているのか個人で考えていく。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	一日に流れの中で一人一人と会話を持ち話し合う場をもっている。管理者に相談し安心して頂くようにしている、また一緒に作品作りを共にしている中で聞いている。	○ 些細なことでも納得されるまではなしを聞くようにしている。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族会合時に相談を受けることがあり対応している。雑談の中で家族から聞く事がある。管理者を通して内容を聞く事が多い	○ 担当入居者の家族のなやみは聞いてみたい。なかなか会えないことが多い

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	CMより指示を受けている。その人に合う介護が出来るように努力していく。	○	一番良い支援をしたいと思う取り組みたい。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族と連絡をとり密に徐々に出来るように援助していく。	○	利用者同士が仲良く過ごせるようにとりくんでいきたい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人生のよき先輩として学ぶ事も多い。個々の人の介助がいる場面を見出し楽しみながら聞いている。	○	打ち明ける利用者の心の支えになってあげたい
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族と話し合いながら支援、日常生活のようす、面会時月一回の便りで知らせている。	○	こころの不安定を少しでもなくすために家族にホームに来所してもらいたい
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	便りや日常生活の変化を伝えていくことによりなされている。	○	本人と家族がよりよい関係を築いていけるように努力し、また本人より依頼できるよう支援したい。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入所時要望、意見、希望等を聞きいれるようにしている。同窓会、友人への頼りをかいたり友人面会等を支援している。	○	
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	個々に会う役割を持ちできるだけ参加するよう声かけ食卓の席の配置にも工夫している。	○	トラブル発生した時その都度配置を考え楽しく過ごせるよう報告相談解決していきたい。孤立しないようレクリエーションの利用。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	他入居施設へ面会に行っている。管理者は顔をだし関わりを持つようにしている。	○	様子を見に行き情報を聞いている。
手いる。				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	介護者の価値感を押し付けることなく利用者の自己決定を尊重しあるがままに受け入れ援助している。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	愛用の(橋、茶碗、ゆのみ)物を持って来てもらい記録や本人から訴えを情報収集している。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	観察や傾聴したことを把握するようつとめている。利用者の訴えや要求に対してその人にあうスタイルを少しでも続けられるよう努めている。	○	出勤時の声かけやあいさつで知る
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ミーティング時情報交換し合い意見やアイデアを出して作成されたプランを家族に説明し同意を持っている。	○	家族と本人の希望することが異なる場合話し合いを行う。同意得ている
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	本人にムリでない介護計画を作成し理由を見つけ今までの不十分な点を検討している。	○	ケアプランの見直しはこれまで通り行う。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	その方に会うケアを見出し支援している。食べやすく、飲み込みやすく、見た目に美しく美味しく一人で食べられるようにどうしたら食べてもらえるか等に工夫している。	○	記入方法、内容が職員に分かるようにかわった事など記入してほしい。申し送り、連絡帳で情報提供
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	要望に応じて支援している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	取り組み支援している。	○	もう少し身近な関係が構築できればと思う
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他のCM, サービス業者と話しあい他のサービスを利用するための支援をしている。	○	リハビリ等が必要な場合
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	相談。情報を共有している。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の往診を受け1人1人の体調にあう受診を受けている。毎日のバイタルチェック施行。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	相談や診断、治療を受けている。		
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	病院に気軽に相談して日常の管理に努めている。		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	管理者が相談に努めている。	○	見舞いに行くように努めている。
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	方針を話し情報を共有している。		
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	今後の変化にそなえて準備はしている。検討課題は在る。	○	取り組みたい。想定の話や理解を深めて生きたい。
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	十分な話し合いや情報交換に努めている。	○	利用者の気持ちになり接する。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p> <p>十分に注意し、対応やことばかけが不適切な時はその場で注意をしている。</p>	○	プライドを損ねないように注意していきたい。(敬語を使う)
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p> <p>出来るだけ行っている。希望を聞いたりする時説明がうまくいかない時は管理者に相談している。</p>	○	納得できる生活が出来るよう支援していく。
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p> <p>職員のペースや中心で進めている事がある。強制いせず、レクリエーションに誘っている。</p>	○	生き生きとした一日を過ごして頂き各人の要望をきいてあげたい。昼食後はのんびりしていただきたいものである。大切にしたい。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p> <p>家族と一緒に出かけている。職員が整髪する事もある。</p>	○	お化粧をされるよう支援したい。
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p> <p>一緒に食事を同じテーブルで食べ、食器洗い、皮むき、盛り付け、片づけ、トレー拭きの手伝いを職員と一緒にしている。</p>	○	手伝いが限られている、声かけでもっと楽しんで準備できるものを作りたい
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p> <p>買い物時に購入。酒以外は支援している。</p>	○	好みを聞いて取り入れていきたい。制限のある方へもカロリー等を控えた物で対応

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	誘導の実施。汚される方の後の確認している。		
57	曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日、時間帯を一応決めている。。体調や拒否時は時間や日を改めている。	○	汗、便失禁時は入浴時以外でも行っている。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	ホーム内の温度、湿度のかんりを行う。食後は自由に居室で休息できている。	○	温度調節等にきをつけている。食後は自由に休息を取らせたい
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個々に会う役割をしてもらっている。ストレスにならないように支援している	○	積極的に参加したくなるようなものを考える。楽しみを持てるような支援とする。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理の出来ない人は事務所で預り、管理者が必要物品を購入している		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候を考慮し外へ出るように心がけている。温室までは、いつも散歩を支援している。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	外食への支援をしたり、季節毎の花見に気候の良い日には全員で出かけている。	○	手作り弁当で出かけている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は自由に掛けれる。手紙も住所書きやポスト投函を支援している。	○	時々家族に送られるよう支援していきたい。(知人、)
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	自由である。行事に手紙で報告し参加自由にしてある。笑顔で対応するよう、あいさつを心がけている。	○	気持ち良く向かえるよう心がけている
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	取り組んでいる。8/12に勉強会を行った(拘束委員による)	○	失尿が頻回であっても様子を伺い誘導にて対応。オムツ使用はさけるケアを目指す。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	取り組んでいる。門扉は安全の為施錠している。親しい友人や家族には別の入り口を伝えている。	○	安全確認。見守りの強化。
67	職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	部屋に入る時は声かけ、ノックをしている。見守り、見回りを確実にしている。	○	見守り職員が常にいるようにする。暖簾に鈴をつけた。(出室確認)
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	包丁類は所定の場所へ。はさみ、かみそり、針、を所持している人はいるが本人管理としている。時々点検している。	○	使用時は職員が同席している、
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	年に数回勉強会を行い。車椅子・・・転倒、見守り。嚥下不良・・・食事方法の考慮。フラツキ・・・手引き介助	○	一人一人の状態に合う対応、見守り。再度の確認、注意を忘れない。事故防止の為の知識の取り組み。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	医師、救急車を呼ぶべき状態の手順はあるが訓練した事が無い。現在は取り組んでないが近日中に予定を組んでいる。	○	年に数回訓練を実施してほしい。(初期対応)。2人組みで連絡救助の仕方を訓練した。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災訓練は年2回行っている。又地域の消防員の方に講話をお願いした(防火に対する意識改革)。運営推進会議の中で協力をお願いしている。	○	他の災害対策の方法について知りたい。利用者に非常口への誘導訓練も必要ではないか？又災害時に避難場所として場所の提供が出来ればと考えている。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	家族との話の中に起こり得るリスクについて話している。	○	見守り厳守としたい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタルチェックで様子観察を行い又声かけで体調を伺い、小さい事でも管理者に連絡、指示をもらっている。	○	指示をノートに記し状態を見ながら対応している。体調の変化、体に触れて水分摂取量を確認している。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方された際に、必ず目を通して確認している。尋ねられたら記録帳で確認している。症状の状態や薬に関する管理、変更、は管理者(看護師)が管理支援している。	○	服薬を理解できるよう取り組んでいく。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	飲水量。運動を促し一日一回の便チェックをおこなっている。献立を考える時食物繊維の多い食品を取り入れるように考えている。安心の声かけと薬の使用の調整	○	楽しんで美味しく食べて頂く様料理も工夫したい。適度な運動の心がけ(体操、踊り)
76	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	個人に会う口腔ケアを行っている。(誘導、見守り)	○	声かけを必ず行う。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事。飲水量のチェックし少量であれば話し合い残量の把握好きな飲み物で補充している。	○	一人一人の体調にあわせる(みきさー、とろみ、刻み)栄養摂取出来るよう工夫している。コップからペットボトルに変更。居室で飲めるようにする。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染手順の確認。(ノロウイルス。インフルエンザ)窓の開閉。うがい。手洗いの徹底。布団干し。オスバン拭き。	○	感染予防対応し勉強していく。食前の手洗い。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材期限の確認。まな板、フキン、スポンジ等の消毒(次亜塩素酸使用)。乾燥器使用。手順表を作成している。	○	食中毒予防(ゴキブリ駆除)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	花が四季を通じて咲いている。周りにも花木を植え訪問しやすい雰囲気作り(草取り、水やりにて大事にしている。)	○	花をいっぱい咲かせたい。利用者との共有を図る。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関に花。居間に観葉植物と癒しの空間を作っている。家具たたみな間など。時々模様替えて新鮮作りを演出。居間はゆっくりくつろげる。	○	植物を何ヶ所も置き心の安らぎを与えている。季節がわかるようカレンダーを作成している。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	それぞれの思い思いに過ごされている。独りのときは決められた席で。他利用者とは過ごす時はTV前のソファに座る。	○	たたみに冬場はコタツがあっても和の空間が作れるのでは？本棚に雑紙を置いてもいいのでは？

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は自由に使用し持ち込みも最低限の物としている。仏壇等も持ち込みあり。タンスに衣類分け、名札をつけている。	○	仏壇には朝お茶、ご飯を用意している。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	温度、湿度の調整はこまめに行っている。トイレ使用时(室内)換気扇使用。消臭剤使用。時間を決め、定期的に掃除を行う。	○	利用者の希望に相談に応じる事もある。夏場での温度調節を心がけている。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	場所の間違いや混乱を防ぐための工夫。歩行の障害にならない空間作り。スリッパをはかない(転倒予防)。手すりも全ての人が使用できるよう工夫。	○	トイレ、部屋の目印。整理整頓の心がけ。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	得意なことを進んでやって頂いている。その人に合う見守り配慮。張り紙の活用、夜間トイレの見守り等の支援をしている。	○	分かりやすくするため工夫したい。無理強いをしない。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	温室でのバーベキュー大会、居室外窓に季節の花がいつも咲いている。お茶会、花、野菜を植えている。ホーム周りにイスをおいて散歩の最いつでも掛けれるようにしている。外回りは自由に散歩が出来、利用者は菜園、収穫を楽しんでいる。	○	食後の散歩と自由にあるいている、温室、畑の花は自由に切り活けている。

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	●	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	●	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	●	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	●	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	●	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	●	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	●	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	●	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように
		<input type="radio"/>	②数日に1回程度
		<input checked="" type="radio"/>	③たまに
		<input type="radio"/>	④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている
		<input checked="" type="radio"/>	②少しずつ増えている
		<input type="radio"/>	③あまり増えていない
		<input type="radio"/>	④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	<input checked="" type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が
		<input type="radio"/>	②職員の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③職員の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	②家族等の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③家族等の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

花に囲まれた環境の中で散歩したり温室で過ごしている。温室で取れたバナナのたたき売りが出来ること。梅、桑の実、サクランボ、芋ほり、ホームの畑で採れた芋で焼き芋大会が開かれる事。毎日体操をし、健康づくりに努めている。職員も生き生きと働いて、利用者も笑顔で過ごされている。